

# 地域別市民意見交換会

## 令和4年度の地域別市民意見交換会は

11月8日から12月14日にかけて、市内20会場において意見交換会を行いました。

いただいたご意見は所管する常任委員会等に割り振り、回答を検討し、主なご意見に対する現時点での市議会の考えとして取りまとめました。

今号では抜粋して掲載しています。一覧表形式のまとめは市議会ホームページをご参照ください。

市議会ホームページ  
R4地域別市民意見交換会



### ① 防災

市民

・防災活動について、飛騨川の氾濫の経験では、孤立集落や国道の通行止め等の課題もあった。大きな町内では訓練やシミュレーションが可能だが、小さな町内では対策が困難な状況もある。また、地域の防災上の特性についても正確な理解が共有されていない。避難所の運営についても同様で指示系統や管理責任についても不透明。



・防災対策では、日頃から自分たちの地域の実情や特性を把握し、その地域に合わせた地区防災計画を策定することが大切であり、避難所の運営についても、行政やまちづくり協議会と連携して事前の運営体制を訓練などで確認しておくことが必要と考えます。さらなる防災対策の強化推進について議論を深めます。

議会

### ② 高齢者福祉

市民

・支所地域では、JA等の閉店により、食料品や日用品などの買い物が困難になっていくので、買い物支援対策を進めてほしい。



・生活必需品の購入が困難となることは大きな課題として受け止めており、移動販売の支援が必要であると考えます。また、公共交通機関の整備などの面からも買い物支援に関する調査研究を進めます。

議会

### ③ 子育て

市民

・子育て、教育、暮らしに魅力ある街にしていきたい。



・市では様々な魅力づくりや移住定住策に取り組んでいますが、更に有効な方策がないか、他の自治体の取組も含め調査研究を進めます。

議会

### ④ 農業

市民

・米作りは赤字。田圃も耕作放棄地になりつつあり景観上良くない。後継者も不足。水張り減反は机上の空論。国へ声を上げてほしい。



・農業委員会からも意見が出ているところであり、議会として水田活用の直接支払交付金の見直しの中止等を求める意見書を国へ提出しました。

議会